

遊び♪♪

こどもたちは遊びが大好きです。けれども強制されるとその時点で遊びではなくなります。

次の企画は、ダンボールで居場所作りをし、そこに泊まる計画をしています。災害時に体育館などで必要となるプライベート空間づくりを体験します。差し迫った状況ではないときに体験することで、いざという時に役立たせてほしいのです。

つんつくまつりなどの出展時準備中に、発電機の使い方などを学生たちに教え、必ず自分で試させているのも、災害の時に生きる力、生き抜く力を遊びながらも学び覚えてほしいからです。



気づいた

井上さんと一緒に活動する、四郷高校三年生の打田さんが話してくれました。

「近鉄内部・八王子線が廃線危機のときに写真を撮る人が多く、なぜこの電車がすごいのかと不思議に思ったのがきっかけで、四日市あすなろう鉄道と関わってきました。ナローゲージが有名ですが、1年を通して運行しているナローゲージの鉄道が日本に2つしかないということを知り、それが自分の町に、目の前にあるということを嬉しく思いました。そして、みんなに伝えていきたいと思いました。」

井上さんと活動してきて、高校生が町の役に立てるとするのが嬉しかったです。高校生でも頑張つていかなければと思つたし、もっと活動しなくてはと思っています。



ミニ知識：ナローゲージ

日本の鉄道の線路幅は3つあります。

JR新幹線や近鉄は1,435mm、JR在来線などは1,067mm、あすなろう鉄道はそれより狭い762mmで、ナローゲージ(特殊狭軌)と呼ばれます。日本に3つしかないナローゲージの鉄道が三重県には2つあります。あすなろう鉄道と三岐鉄道北勢線で、どちらの鉄道とも、廃線の危機を乗り越えてきました。地域の住民が存続のために努力し、イベント列車の企画などで盛り上げています。

みなさんも、ナローゲージ鉄道の小さな旅に出かけませんか。

ほら、車窓から、大きな井上さんと小さな子どもたちの手を振る姿が見えるかもしれませんよ!



これからも、井上さんが蒔いた種から、子どもと地域の環がますます大きく育ち、若い力と地域がうまく融合していくとでしよう。

写真・資料提供 井上誠二さん

メッセージ

もっと遊んでほしい! 何かが行動してほしい!

結果を考えてしまい、もうそれは出来ないと言いが早く、チャレンジ意欲のない子どもたちに、結果を決め付けず、まず、やってみて幾つかの選択肢があることを知ってほしいです。

経験値の少ない子どもたちには、経験する機会が必要です。自然の怖さを感じたり、不便さを感じて工夫したり、何でだろうと、すぐに答えの出ない思いをして欲しいです。

そもうひとつ、人間関係の中の経験。話をしなければ、誰にも自分の思いは伝わりません。

いろいろな体験を大切にして、地域を活性する若い力を引き出していく井上さん。

自らを「よそ者」と言いますが、井上さんの活動からは、自分が住むこのまちを地域の人と一緒に良くしたいという思いを強く感じます。

